

平成 26 年度

市民と議会をつなぐ会

～議会報告と意見交換会～

実施報告書



平成 26 年 8 月

北上市議会

～ 目 次 ～

1 開催状況

(1) 日時・班編成	2
(2) 地区別の参加者数	3
(3) 参加者の性別・年齢層	4
(4) アンケート集計	5

2 意見・質問・要望等

(1) 総務常任委員会関係	7
① 防災情報の伝達・コミュニティFMについて	
② 防災体制の強化について	
③ 地域づくり・人口減少対策について	
④ その他	
(2) 教育民生常任委員会関係	22
① 子育て環境について	
② かむいソーラー(北上第1・第2ソーラー発電所)について	
③ ゴミ処理について	
④ その他	
(3) 産業建設常任委員会関係	27
① 農業について	
② 商業・観光について	
③ その他	
(4) 広聴広報特別委員会関係	34
① 市民と議会をつなぐ会について	

1 開催状況

(1) 日時・班編成

◆場所：各地区交流センター

◆時間：午後7時～8時30分頃

開催日(H26)	地区	意見交換のテーマ	担当班
5月19日(月)	更木	地域づくり	1班
	藤根	地域づくり	2班
	鬼柳	地域づくり	3班
	稲瀬	地域づくり	4班
5月20日(火)	二子	地域づくり	1班
	口内	子育て環境	2班
	岩崎	地域づくり	3班
	立花	地域づくり	4班
5月21日(水)	江釣子	地域づくり	1班
	和賀	子育て環境	2班
	黒岩	地域づくり	3班
	相去	地域づくり	4班
5月22日(木)	黒沢尻北	子育て環境	1班
	黒沢尻東	地域づくり	2班
	黒沢尻西	地域づくり	3班
	飯豊	地域づくり	4班

(意見交換のテーマは各地区の自治組織による選択)

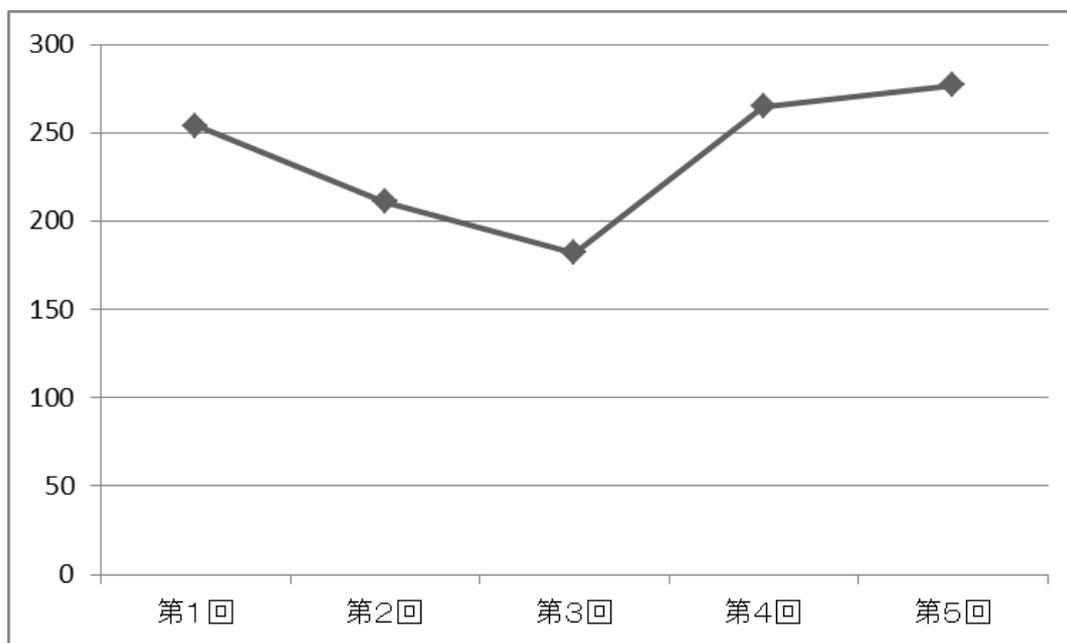
◆議員班編成

1班	佐藤 恵子、三宅 靖、菅野 豊志、小原 敏道、 星 俊和、佐藤 ケイ子、鈴木 健二郎
2班	藤本 金樹、阿部 眞希男、安徳 壽美子、 高橋 光博、及川 誠、八重樫 善勝
3班	齊藤 律雄、藤原 正、川邊 津好、 梅木 忍、八重樫 七郎、佐藤 重雄
4班	小原 享子、武田 勝、高橋 穂至、星 敦子、 千葉 一夫、高橋 孝二、高橋 初男

(2) 地区別の参加者数

意見交換テーマ 【H26】	地 区	H26. 5 開催 (第 5 回)	H25. 5 開催 (第 4 回)	H23. 11 開催 (第 3 回)
地 域 づくり	江 釣 子	41	19	7
	更 木	26	30	33
	立 花	22	10	4
	藤 根	19	31	5
	飯 豊	19	11	19
	二 子	18	9	8
	岩 崎	18	21	13
	黒沢尻東	17	5	16
	黒沢尻西	17	16	15
	稲 瀬	17	12	7
	鬼 柳	15	15	16
	黒 岩	6	10	12
	相 去	5	20	4
	子育て 環 境	和 賀	19	21
黒沢尻北		11	9	9
口 内		7	26	5
合計		277	265	182

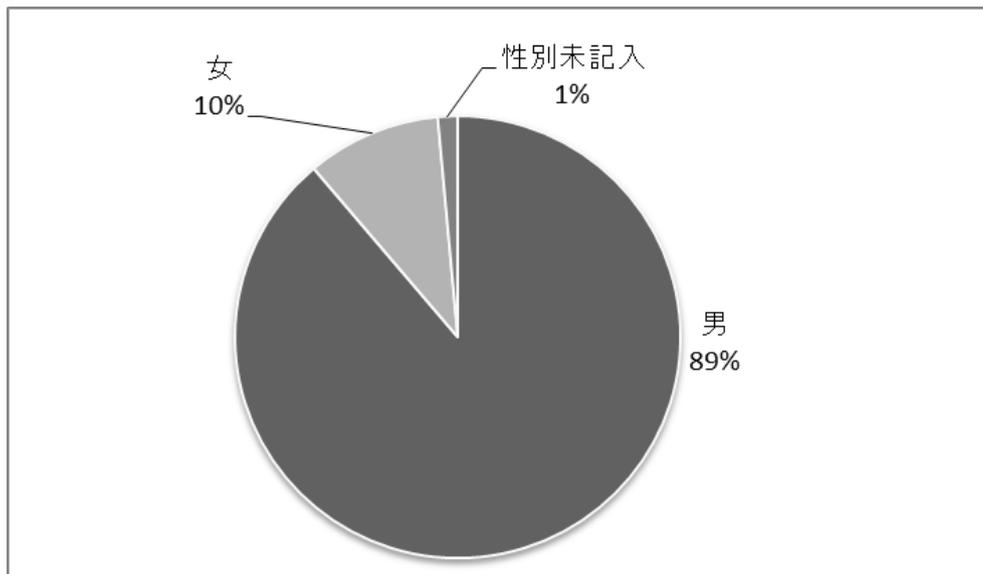
参加者数の推移



(3) 参加者の性別・年齢層 (受付表記入者)

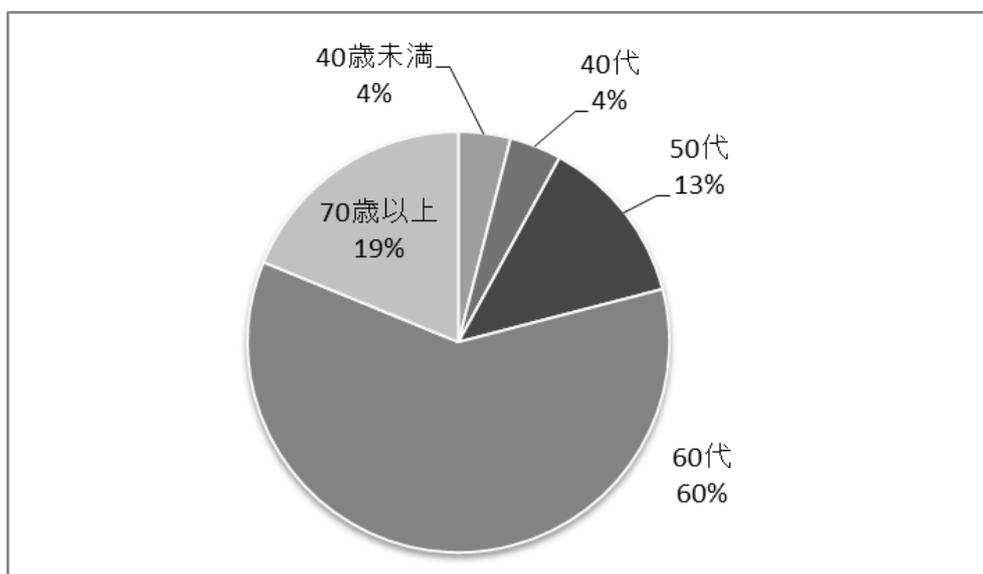
① 性別

男性	女性	性別未記入
246	27	4



② 年齢層

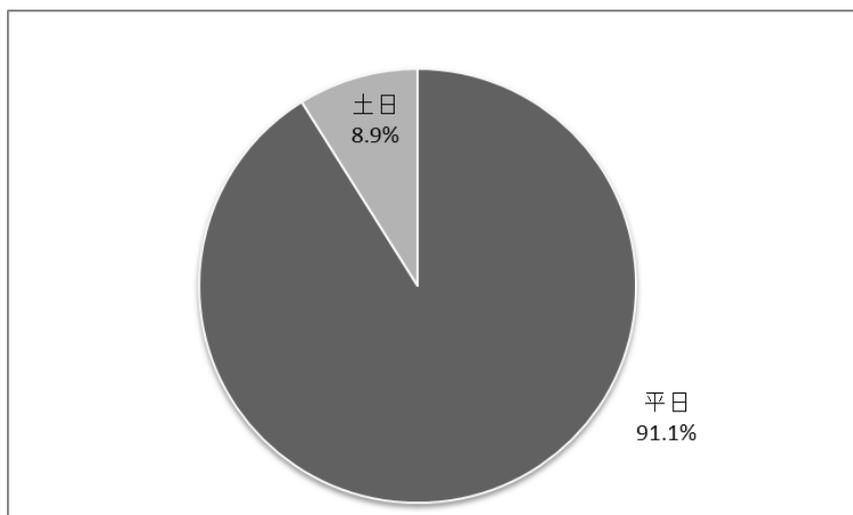
40歳未満	40代	50代	60代	70歳以上
11	11	36	167	52



(4) アンケート集計

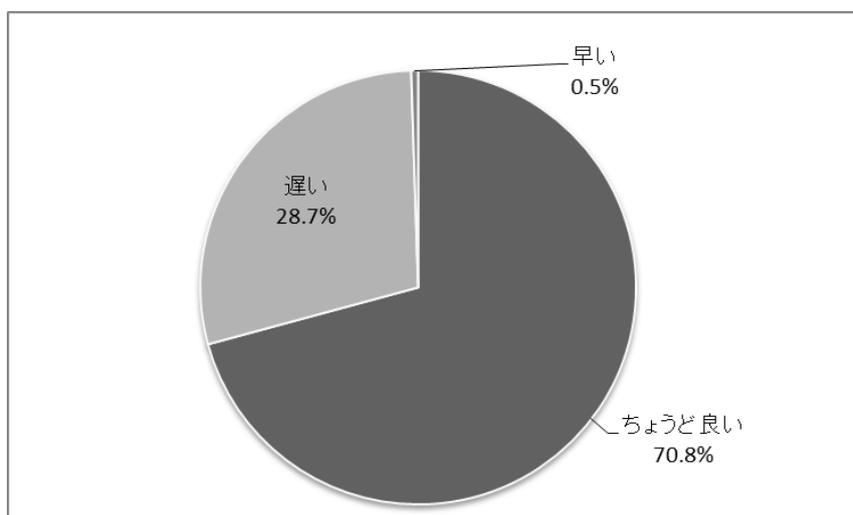
① 開催曜日について

平日が良い	土日が良い
174	17



② 開始時間(午後7時)について

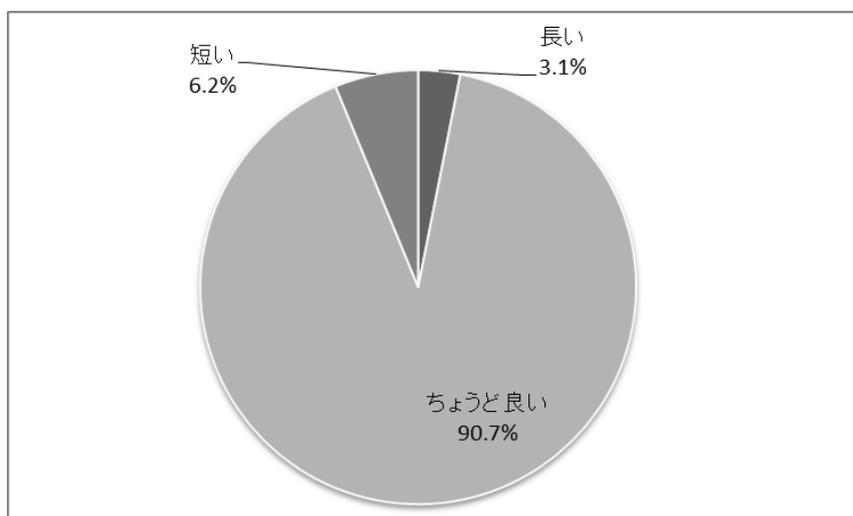
ちょうど良い	遅い	早い
138	56	1



※午後7時からでは遅いと回答された方の内、午後6時からが良いという方が26名、午後6時30分からが良いという方が18名いらっしゃいました。

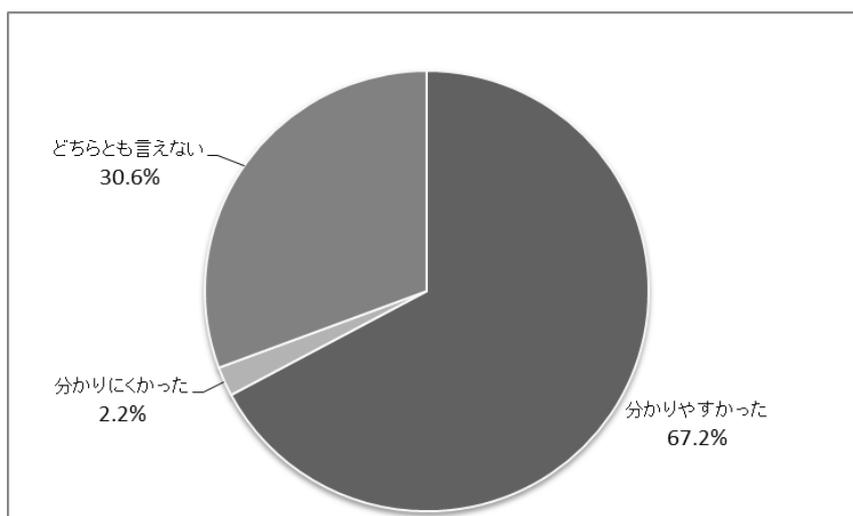
③所要時間（1時間30分）について

長い	ちょうど良い	短い
6	176	12



④ 議員の説明について

分かりやすかった	分かりにくかった	どちらとも言えない
125	4	57



2 意見・質問・要望等

(1) 総務常任委員会関係

① 防災情報の伝達・コミュニティFMについて

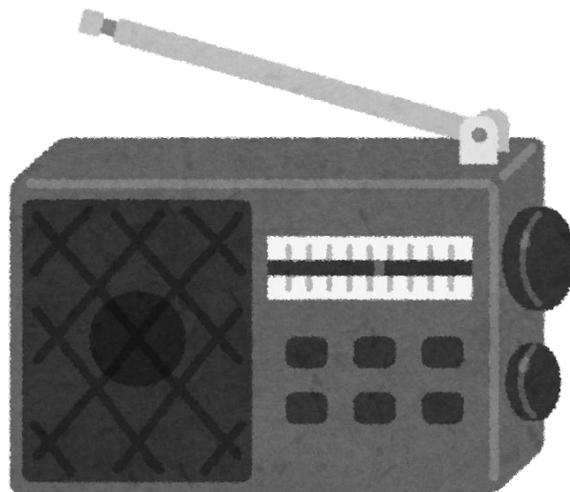
《コミュニティFMについての疑問・質問》

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
1	コミュニティFM関連予算を削除した理由はなにか。	議会としてはコミュニティFMを不要だとしたわけではなく、その必要性、採算性、持続性等をもっと検討するべきとの意見もあり、審議の結果、削除することになったものです。	岩崎
2	コミュニティFMの採算性が問題となったことについて詳しく教えてほしい。狭い範囲で広告収入を中心に経営するのは難しく、公的な資金を受けなければならないとも考えるがどうか。	市ではコミュニティFM局を公設民営で設置するとしており、これは施設や設備は市が設置し、運営は民間が行うもので、運営には一切お金を出さないとのことでした。 しかし、全国のコミュニティFM局の多くが赤字経営となっており、行政がお金を出さなければ経営できないのではないかとということが、議論されました。	立花 相去
3	県内他市のコミュニティFM局の運営状況はどうか。	花巻、奥州、一関のコミュニティFM局は行政からの委託料を得ているようですが、具体的な数値はつかんでいません。運営費用が年間3,000万円程かかると言われており、放送の事業のみでは経営が成り立たないと思われます。	和賀
4	大切なことであれば、民営ではなく、公設公営で実施できないか。	放送法により、地方自治体が直接経営してはならないことになっています。	二子 更木
5	有事の際には携帯ラジオが有効と思うが、コミュニティFMで情報が市内全域に伝達できるか疑問もある。	情報の伝達手段は1つだけでなく、複数必要だと思われます。高齢者にはラジオがいいとも言われており、様々な組み合わせを考える必要があります。	黒岩
6	災害情報だけでは、つまらない放送にならないのか。	コミュニティFMは、災害情報のみを放送するものではなく、平常時には自主制作番組や中央局の番組を放送するものです。	二子
7	コミュニティFMは停電時も放送できるのか。	非常用電源を準備し、停電時でも放送できるようにしている放送局が多くあります。	黒沢尻北
8	運営事業者に応募した事業者は。	北上ケーブルテレビとNPO法人のきたかみ観光ネクストの2事業者が応募しました。	江釣子
9	コミュニティFM局を運営しようとした北上ケーブルテレビの経営状況はどうか。	経営は厳しいと聞いています。	黒沢尻北 口内 和賀

《コミュニティFMについて推進の立場からの御意見》

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
10	<p>東日本大震災の際に、災害の状況やライフラインについての情報が入ってこなかったため、市民は災害情報の伝達がいかに重要か認識している。ライフラインの確保と情報伝達が課題であり、最小の経費で最大の効果が得られるように、有効な手段を検討してもらいたい。</p> <p>在宅避難者への情報伝達など、市民の安全安心を重視する防災という観点からは、コミュニティFMは重要な事業と認識している。採算性も考慮しなければならないが、それだけに偏らないでほしい。費用がかかるということについては、食糧等を備蓄しているのと同じだと思われる。災害時に有効であれば、普段は少しぐらい赤字でも設置するべきであり、期待しているのでぜひ実現してほしい。</p> <p>全国のコミュニティFM局の大半が赤字だというが、厳しくても健全な経営をやっているところもあり、いろいろな手法がある。県内では二戸、盛岡、花巻、奥州、一関のFM局が河川国道事務所と提携して災害情報を迅速に放送する手立てを実施している。</p> <p>若い世代はスマートフォンやSNSで情報を得ることができるが、高齢者世帯が多い中、手軽に聞けるラジオ放送がベターな方法と考える。</p> <p>また、大規模な災害時の情報伝達に消防は期待できず、ケーブルテレビが見られない地域もあるので、コミュニティFMの整備を進めてほしい。</p> <p>コミュニティFMは災害時だけでなく、文化的な面の効果も期待できるため、行政からの補助で取り組むことも検討すべきと考える。</p> <p>議会で反対するだけでなく、代案を示すべきではないか。</p>	<p>災害時の情報伝達は市の重要課題であり、議会としても総務常任委員会を中心に、有効な手段について引き続き調査研究を行います。</p> <p>当市では昔の有線放送を発展させた「同報系防災行政無線」が整備されておらず、消防車両に設置した無線などにより、地域に情報伝達をしているのが実情です。東日本大震災を機に、これだけでは不十分とのことからコミュニティFM局の整備が具体化されてきましたが、平常時の運営維持に課題があり、見直すこととなりました。しかし、災害時の情報伝達手段を調査研究していく上で、コミュニティFM局を検討に含めない訳ではありません。</p> <p>また、コミュニティFMは災害時だけでなく、普段の放送でも様々な効果が期待できます。そのような面も含めて検討していきます。</p>	<p>黒沢尻北 黒沢尻東 黒沢尻西 立花 更木 黒岩 口内 稲瀬 鬼柳 江釣子 岩崎</p>

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
11	二子地区では水害の心配もあり、情報は大切である。	災害時、また防災のための情報が大切ということはその通りですが、コミュニティFM以外にも情報伝達的手段はあります。昨年度の雫石町での集中豪雨による水害時には、携帯電話への緊急災害メールが有効だったとの事例もあります。	二子
12	東日本大震災の時、ラジオの情報がとても心強かった。県全体の情報であったが、北上の情報が多ければもっと身近に感じられたと思う。ぜひFM局の設置をお願いしたい。	コミュニティFMは、身近な情報を流せるのが強みと言われますが、少人数体制の局が多く、取材体制・情報収集に課題があるとも言われています。他県の事例ですが、台風の接近に伴う市内の情報を提供したものの、夕方の情報を繰り返し深夜まで放送し続け、かえって混乱を招いた事もあったようです。その意味でも複数の情報伝達手段の検討が必要と考えます。	黒沢尻西
13	市民にも議会にも説明不足と思われる。 市民の盛り上がりがないとの意見もあるが、情報を住民に伝える手段がない更木では開設に皆賛成であった。他地区ではどうだったのか。	議会からも地域説明の必要性を指摘し、その指摘により16地区での説明会が開催されました。しかし、市の重要課題も含めて、3つの課題を説明したため、地区によってはコミュニティFMについて十分に理解されたとはいえなかったようです。	二子 更木
14	全世帯にラジオを配布することも検討してよいのではないか	実際に防災用のラジオを配布や販売している自治体もあり、調査研究を進めます。	黒岩



《コミュニティFMについて慎重な立場からの御意見》

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
15	<p>コミュニティFMは、採算性を重視し、慎重に検討してもらいたい。赤字になるのが分かっているのだから、何千万円もかける意味はない。普段からラジオを聴いている市民がどの程度いるのか。災害時には、今あるメディアに依頼するのが良い案と思う。</p> <p>災害情報の伝達という目的ではあるが、コミュニティFMは一方通行でメリットが薄いのではないか。交流センターや自主防災組織が持つ無線でのやり取りの方がいいのではないか。</p> <p>各行政区で自主防災活動を計画し、訓練などを実施し始めているところなので、災害時の情報伝達は、もっとそれを活かしながら進めていくことがコミュニティFMよりも先だと思う。</p>	<p>全国約 280 局程度のコミュニティFM局は赤字のところが多く、自治体の支援が打ち切られて閉局したところもあります。採算性に課題があったことも、平成 26 年度当初予算から削減した理由の 1 つです。また聴取率についても議会で議論されました。</p> <p>無線については、災害対策本部と各交流センターとの連絡用無線と、各交流センターから各自主防災組織への連絡用無線が配備されました。自主防災組織や既存メディアを活用することが重要であるということは御指摘の通りですが、情報伝達は複数の手段を準備しておく必要があります、議会としても、有効な手段を引き続き調査研究していきます。</p>	立花 二子 江釣子 和賀
16	<p>高齢者はFMを聴かないのではないか。災害情報は和賀有線で得られていた。従来のものに準ずるものにしていく必要があると考える。</p>	<p>FMの聴取率については議会でも論点となりました。</p> <p>議会としても有効な情報伝達手段について引き続き調査研究を行います。</p>	藤根

《その他の御意見》

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
17	<p>コミュニティFM関連予算を削減した分、自主防災組織の強化に充ててほしい。</p>	<p>今回の削減分は、基金からの繰入金を削減したものです。</p> <p>市としても、地域による自主防災組織の温度差を是正しようとしており、今後も自主防災組織の機能強化は図っていく必要があると思われます。</p>	江釣子
18	<p>スピーカーを設置して放送してはどうか。</p>	<p>屋外にスピーカーを設置して放送する「同報系防災行政無線」は聞こえる範囲に課題があり、また設置や維持にも多額の費用がかかりますので、現在は予定されておりません。</p>	黒沢尻東

② 防災体制の強化について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
19	<p>自主防災については、防災士（防災や救急法の知識・技能をもち、災害時には避難誘導や救助、避難所の世話などを行う人）の養成や地区防災組織づくりへの支援など、もっと組織づくりに投資してください。</p>	<p>自主防災組織の機能強化については、市でも継続して取り組んでいます。</p>	江釣子
20	<p>避難所として使う場合、対応が難しいところもあるので、自治公民館の修繕費の上限 50 万円を上げて欲しい。</p>	<p>担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。</p> <p>【生涯学習文化課・消防防災課】</p> <p>自治公民館整備費補助金は交付要綱が定められており、生涯学習の推進を目的として交付されています。今年度は新築 150 万、給排水設備 50 万、修繕 50 万×4 件の合計 400 万円を予算化しています。防災を目的とした自治公民館修繕への補助については現在制度がないため、御要望として承ります。</p>	江釣子
21	<p>藤根地区交流センターに電気自動車が配備されると聞いていたがまだ来ない。どのようになっているのか。</p> <p>各地区交流センターへの電気自動車等の配備について、平成 26 年度は 5 カ所で、その後はどうなるのか。</p> <p>交流センターへの電気自動車の配置については、4WD を希望する。</p>	<p>平成 25 年度の事業でしたが、今年度に繰り越されて配備されます。</p> <p>全地区で希望を確認した結果、平成 25 年度予算で 2 カ所、今年度予算で 5 カ所配備となります。地区によっては電気自動車は不要だとの意見もあり、7 地区のみの配備となったものです。来年度以降の予定はありません。</p> <p>4WD の電気自動車は各メーカーからも販売されていませんので、今後開発された場合は検討いたします。</p>	更木 藤根 岩崎
22	<p>地域の防災拠点については、中長期計画があれば、地域で何を整備していけば良いのかわかるので、示してほしい。</p>	<p>担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。</p> <p>【消防防災課】</p> <p>平成 24 年度より別紙備蓄目標（計画）により、第 1 次収容避難所 17 ヶ所に非常食、飲料水、毛布、紙おむつなどを備蓄しております。</p>	岩崎

災害用備品備蓄目標

●1避難所(第1次収容避難所17ヶ所)基本備蓄目標

品名	避難所1箇所 備蓄目標数(A) (1避難所)	積算根拠	17避難所備蓄目標 (A)×17(交流センター+勤体)	備考
備蓄倉庫	1棟		17棟	H24済
発電機	2台	出力2.5kVA	34台	H24済
ガソリン携行缶	1個		17個	H24済
投光器	2台	2灯式三脚仕様(1灯/500W)	34台	H24済
電工コードリール	2個	屋外用20m	34個	H24済
給水タンク	1基		8基(黒北・黒東・立花・飯豊・ 二子・更木・黒岩・口内)	H24済
毛布	50枚	50枚	50×17箇所=850枚	H24済
布団マット	96枚	96枚	96枚×17箇所=1,632枚	H24済
紙おむつ(幼児)	296枚	各種サイズ1個 新生90枚・S84枚・M68枚・L54枚	290枚×17箇所=5,032枚	H24済
紙おむつ(大人)	116枚	M30枚×2個 L26枚×2個	116枚×17箇所=1,972枚	H24済
アルファ米 (5年保存)	600食	100人×3食×2日分	600食×17箇所=10,200食	H24~H28年度で配備 1年に2,500食/5年間 100食×17避難所 800食(大堤相去柳原)
保存水 (5年保存)	240本/500ml	100人×2本×1日分	240本×17箇所=4,080本	H24~H28年度で配備 1年に816本/5年間 24本×2箱×17箇所
携帯トイレ (7年保存)	400枚	100人×4枚/1人×1日分	400枚×17箇所=6,800枚	H24済
生理用品	280枚		280枚×17箇所=4,760枚	H26.4済
災害専用特設公衆電話機	1セット	電話機1台 電話コード1本		H26.4済

※哺乳瓶・粉ミルクは、市備蓄倉庫で一括管理

●災害用備蓄品目標値【17避難所備蓄+市備蓄倉庫分(大堤・本庁 予備保存)】

品名	17避難所合計	市備蓄倉庫(大堤・本庁・柳原)	北上市備蓄合計	備考
備蓄倉庫	17棟	3棟(大堤・本庁・柳原)	20棟	H25柳原建設
発電機	34台	6台	40台	H24済
ガソリン携行缶	17個	10個(柳原)	27個	H24済
投光器	34台	6台	40台	H24済
電工コードリール	34個	-	34個	H24済
給水タンク	8基	-	8基	H24済
毛布	850枚(85箱):@1避難所 5箱(50枚)×17避難所 ※マイクロファイバー毛布	150枚(15箱) マイクロファイバー毛布 1,000枚(100箱) 従来備蓄毛布	2,000枚	H24済
布団マット	1,632枚:@1避難所/96枚×17避難所	368枚	2,000枚	H24済
紙おむつ(幼児)	5,032枚:@1避難所/296枚×17避難所	6,670枚	11,702枚	H24済
紙おむつ(大人)	1,972枚:@1避難所/116枚×17避難所	1,228枚	3,200枚	H24済
アルファ米 (5年保存)	10,200食(204箱):@1避難所/600食(12箱)×17避難所	2,300食(46箱)	12,500食(250箱)	(5年計画及び計画後期限切れ廃棄の更新) 毎年50箱購入
保存水 (5年保存)	4,080本(170箱):@1避難所/10箱(240本)×17避難所	-	4,080本(170箱)	(5年計画及び計画後期限切れ廃棄の更新) 毎年34箱購入
粉ミルクキューブタイプ (1.5年保存)	-	1人1日/800ml 1箱/6人分(4,800ml分)×100箱	600人分(100箱) 48,000ml	(期限切れ廃棄の更新) 毎年100箱購入
哺乳瓶	-	哺乳瓶200本 乳首120個	哺乳瓶200本 乳首120個	H24済
携帯トイレ (7年保存)	6,800枚(340セット):@1避難所/400枚(20セット)×17避難所	1,200枚(60セット)	8,000枚(400枚)	(期限切れ廃棄の更新) 7年毎に400セット H31年度
生理用品	4,760枚:@1避難所/280枚(10箱)×17避難所	8,680枚(310箱)	13,440枚(480箱)	H25済
災害専用特設公衆電話機	17セット:@1避難所/1セット:電話機1台・電話コード1本	本庁舎 1セット: 和賀庁舎 1セット	19セット	H26.4済

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
23	各交流センターに防災備蓄倉庫が整備されているが、今後備蓄品等の更新時期が来た際には予算措置を優先的にしてもらいたい。	備品や備蓄品の入れ替えは、計画的に実施される予定です。	黒沢尻西
24	防災のために発電機や担架などが配備されたが、置く場所に苦慮している。そのあたりも考えていただきたい。	置き場所として防災倉庫も配置されています。	飯豊
25	湯田ダムが決壊した場合はどの程度の被害となるのか。	国土交通省では、湯田ダムが決壊する恐れはないとの見解であるため、ハザードマップ等の情報は無いようです。議会でも質問が出され、県には被害想定などのシミュレーションを要望しています。	黒沢尻西



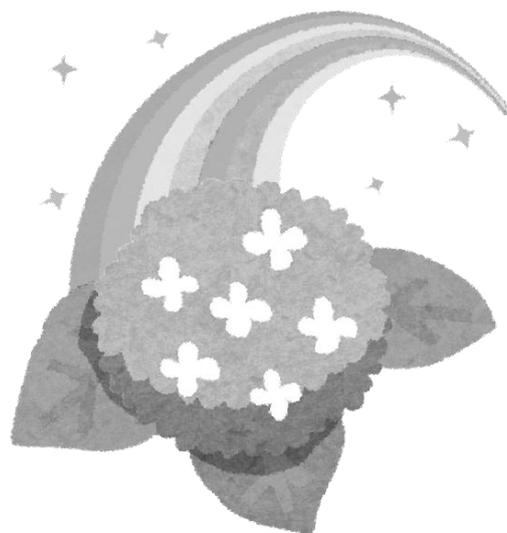
③ 地域づくり・人口減少対策について

《地域づくり総合交付金・自治組織・地域計画などについて》

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
26	地域づくり総合交付金は使い勝手が良くなり、評価している。定住化促進事業は、取り組み体制が整っていないために、人的体制を整えて、次年度から取り組みたい。	地域での取り組み方が重要となりますので、沢山の方が参加しての取り組みをお願いします。	黒岩
27	地域づくり総合交付金となって地域の裁量が増えたが、地域計画に載せていないからダメなど制約があるので、もっと簡単な手続きで交付されるようにしてほしい。	地域計画も後期計画の見直しの時期であり、合わせて検討することができます。手続きの簡便さや行政からの支援については、担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【地域づくり課】 地域づくり総合交付金制度の検討にあたっては、各自治協議会から推薦いただいた委員により検討委員会を組織して行い、その中で検討された内容を最大限反映した制度になっています。その一つとして、きらめく地域づくり交付金では、地域づくり事業費は地域計画に搭載されている事業に限定されておりましたが、地域づくり総合交付金では「原則」となり、制約は以前より緩和されています。 しかし、事業間の配分の自由裁量化や持越し制度など、新たな制度を実現したことにより、その分の手続きが増えています。可能な限り手続きや書類の作成は簡略化しておりますが、交付金という制度上、ある程度の手続きや書類の作成が必要ですので、ご理解願います。	鬼柳
28	地域活動運営事業費 70 万円は各地域一律となっているが、仕事の量が異なるので、これも人口や面積を考慮してもらいたい。	市としても執行後の検証を踏まえて見直しをしていく予定になっています。	飯豊
29	青少年健全育成や健康づくりに 2～3 万円では事業が難しいのではないかと。	他の事業と合わせてある程度配分を自由にできるようになりましたので、青少年健全育成費に、地区としてもう少し増やした事業を実施することも可能です。	二子
30	昨年度は地域づくり交付金 100 万円が各地区に出されたが、計画通り実施されたかどうか確認しているのか。	議会には決算資料として報告されています。事業の詳細については、担当の地域づくり課に報告されています。	稲瀬
31	地域づくりの交付金が地域への丸投げにならないように望む。	その通りであり、行政と地域と一緒に地域づくりに取り組むことが必要と考えています。	江釣子

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
32	<p>市からの仕事がどんどん交流センターに来る。現状で手一杯なので、体制の強化が必要となっている。</p> <p>地域づくりの計画策定に係わる年齢層が60代以上で、若い世代の参加が少なく苦慮している。</p>	<p>昨年度から、人件費がやや上乘せされています。各地区での人材育成についても議会で議論され、人材バンクなどの提案もされています。大きな課題として、これからも議会として取り組んでいきます。</p>	黒岩 岩崎
33	<p>本来行政が取り組むべきことを各自治組織に丸投げして競争を煽っているように見える。地域づくり計画の作成にあたって、もっと行政からアドバイスなどの協力をいただきたい。特に地域計画の見直しに取り組む時期なので、地域主体事業の計画作成の段階で、先進事例などの情報を行政から提供してもらいたい。</p> <p>市が策定する様々な計画がバラバラに作られているような印象を受ける。都市計画マスタープランや学校適正配置など、一体的に考えていく必要がある。また、地域が行政の下請けのようにも感じられる。地域の特性に合わせた地域づくりをしてほしい。</p> <p>地域計画において、地域主体の分は進んでいるが、市主体の部分は進んでいるのでしょうか。</p>	<p>地域が下請けのような状況にあるとの指摘はあります。市民と行政との協働が重要であり、地域づくりに対する行政の支援は当然必要であると考えています。また、市が策定した各ビジョンや都市計画マスタープランも参考にさせていただきたいと思います。なお、都市計画マスタープランの地域計画と、総合計画の地域計画の見直しが今年度実施されるので、地域説明会を行う予定となっています。</p> <p>地域計画は、市では大枠の方向性は示しますが、地域の将来をどのようにしていきたいかは各地域で考えて策定していく必要があると考えます。</p> <p>総合計画の後期計画見直しは、市でも進めています。</p>	黒岩 更木 江釣子 岩崎
34	<p>議員は各自治組織とどのように関わっているのか。</p>	<p>顧問、理事、運営委員等になっている地域もあれば、関わっていない地域もあります。</p>	黒沢尻東
35	<p>区長制のあり方について、早く結論を出してほしい。</p> <p>区長の仕事が多岐にわたり、引き受け手がなく選出が難しい状況にあるので、応分の報酬等を検討していただきたい。</p>	<p>区長と各自治組織の関わりや、区長制度そのもののあり方については議会でも大きな課題と認識しています。今後も引き続き調査研究していきます。</p>	飯豊 岩崎
36	<p>自治会長にも年に1～2万円の手当があってもいいのではないかと。副区長のような役割が多くなっている。</p>	<p>各自治会では手当を支給しているところもあるようです。行政側から強制するものではなく、各自治組織の中で検討すべき内容だと思われます。</p>	飯豊
37	<p>あじさい型の都市になるためには、地域でもっと話し合いをして、市民ひとりひとりがもっと自覚しないとイケない。</p>	<p>御指摘の通りで、「住民自治」という考え方が一般的になってきています。地域内での話し合いは大切であり、地域計画を話し合う時などに、できるだけ多くの市民の方の意見を取り入れていただければと思います。</p>	更木

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
38	あじさい型とは、昔の市町村合併前の状態に戻すという事なのか。	あくまでも北上市全体の中でのそれぞれの地区という位置づけであり、市内 16 地区が、昔の市町村をベースに構成されているのは、その方が地域としてのまとまりがあるためです。	江釣子
39	みちづくり支援事業費補助金 100 万円の枠を広げて 1 件を 300 万円にするとか、件数を増やすなどしてほしい。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【道路環境課】 みちづくり支援事業については、平成 23 年度から 27 年度までで 15 ヶ所を計画しており、その効果などを検証しながら次の計画につなげていくこととなります。 【地域づくり課】 地域づくり総合交付金の地域づくり事業費は、他の補助金や交付金との併用が可能ですので、地域課題の解決に必要な場合は、みちづくり支援事業費と組み合わせての実施も選択肢の一つかと思えます。	黒沢尻北
40	飯豊地区の人口や面積を考えると、交流センターが 2～3 あってもいいのではないか。	地区として協議して頂き、本当に必要だという意見が多数の場合には検討すべきと思われます。	飯豊



《人口減少対策・定住化促進事業について》

※産業建設常任委員会の所管事項も含まれています

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
41	<p>人口減少地域定住化促進事業の予算 1,000 万円はどのように使われるのか。</p> <p>人口減少地域定住化促進事業について、応募する地区が少なければ、多く補助されるのか。単年度なのか継続する事業なのか。担当課はどこになるのか。</p> <p>人口減少地域というのは、いつと比べての減少なのか。</p>	<p>各地区の団体などから事業の提案を受け、その事業に補助することになります。</p> <p>上限は 1 地区 350 万円となっています。事業は 3 年間継続される予定で、担当課は、まちづくり部地域づくり課です。</p> <p>平成 3 年からの人口動態を基準としています。</p>	<p>飯豊 二子 稲瀬 江釣子</p>
42	<p>定住化促進事業は、人口が減少している 7 地区だけでなく、他の農業地域にも範囲を拡げてもらいたい。</p>	<p>モデル事業と位置付けられており、成果を見て、他地区でも実施することになっています。</p>	<p>鬼柳 江釣子</p>
43	<p>定住化促進は、地区単位ではなく、市が主体的に行うべきと思います。人口減少地区は、高齢者が多いため、この事業に動ける人が少なく、働き盛りの若い世帯は地区に興味を持たない人が多いのが現状です。</p> <p>北上の人口は 30 歳以下が少ない逆ピラミッドになっている。少子化、人口減少等は避けられないことでもあるので、10 年 20 年先を見越した戦略を練る必要があり、市全体で対策をとってほしい。</p>	<p>人口減少への対策が喫緊の問題であることは日本創生会議が発表した通りであり、議会もこれから課題として取り組んでいきます。</p>	<p>立花 相去 江釣子</p>
44	<p>学校の統廃合も検討されているが、人口減少に拍車をかけることになると思われる。</p> <p>人口減少は、日本全体がそうなっているのだから、地域で話し合っ解決できるような簡単な問題ではない。</p>	<p>若い世代や特に若い女性がなぜ出ていくのか、理由は何かなど地域でも課題を話し合っただきたいと思います。そして、まずはその課題への対策として市の事業を地域で活用しただければと思います。議会としても、大きな課題として調査研究していきます。</p>	<p>立花</p>
45	<p>定住化促進事業について、補助を受ける事業は事務手続きが大変なので、市側も一緒に実施した方が良いでしょう。</p>	<p>事務手続きについては、行政側でも対応することになっています。</p>	<p>岩崎</p>
46	<p>定住化促進事業は、その予算を少子化対策に使った方が良いでしょうと思います。</p>	<p>婚活事業などにも利用できます。</p>	<p>立花</p>

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
47	<p>人口減に危機感をもっている。子どもが少ない。結婚する人も少ない。</p> <p>対策として、市でお見合いを設定するような仕組みを作ってはどうか。結婚できない人も多く、人口減少対策にもなると思う。</p> <p>同じ地域で婚活事業を実施しても成果が上がらないので、他地域との交流や市全体、市外との婚活事業が必要ではないか。</p>	<p>定住化促進事業を利用した地域づくり協力隊や婚活事業の実施や地域づくり総合交付金の活用は地域の皆さんで主体的に考えていただきたいと思います。近隣地域とも連携した活発な取り組みを期待します。</p> <p>市では、緊急雇用創出事業を活用し、北上商工会議所に委託して「交流推進室」を設置し、「街コン」を過去4回実施しています。男女400人から600人規模で飲食店を回遊して出会いの場を創出する事業です。また、婚活パーティも数回開催し、両イベントの参加者の中には、結婚したカップルも誕生しているようです。今後は、街コンが11月、婚活パーティが9月に開催予定です。社会福祉協議会でも、お見合いパーティを実施しており、こちらは3組が結婚まで達したという話を聞いています。</p> <p>また、「街コン」は、参加者の約半数が市外からの参加となっており、花巻市、奥州市の他、沿岸地区や県外からの参加者もいるようです。婚活パーティは、定住人口の増加を促すため、男性は市内在住としていますが、女性は市内在住又は勤務としており、市外在住者も多く参加しています。</p>	黒沢尻北 黒岩 口内 相去
48	<p>人口を維持するためには企業に残ってもらわないといけない。そのために誘致企業ともしっかり交流を図ってほしい。</p>	<p>当市では市長又は部課長が企業を訪問し、現状把握や要望を承るなどの交流をしております。また、税制面でも優遇措置をしています。</p>	飯豊
49	<p>人口が減少していく地域に住みたいという人がいるが、下水道が未整備だとなれば避けられる。インフラ整備は必要。</p>	<p>生活に必要な不可欠なインフラ整備は必要と考えます。合併浄化槽の普及等も視野に入れつつ、整備が必要な地域を考察していきます。</p>	立花

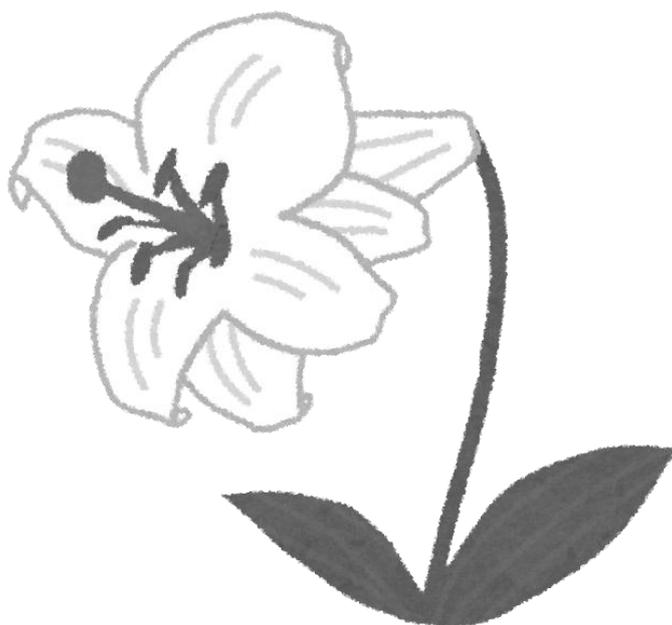
No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
50	都市計画マスタープランでは中心部に人口を集中させようとしているのか。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【都市計画課】 都市計画マスタープランの将来都市像「あじさい都市」きたかみの形成に向けて、都市の核として北上市全体のまちの活力と賑わいを創出する都市拠点と、都市を構成する地域コミュニティの活性化や生活利便性の確保を図り地域活力を創出する地域拠点を位置づけ、現状の都市機能を考慮し、既存ストックの有効活用を図りながら、計画的かつ段階的に機能を充実し、お互いの拠点をしっかりと位置づけ、連携をとりながら、16地区が住み続けられるように拠点形成をしていくものです。	飯豊
51	人口が減少している地域に投資するのは無駄に終わるのではないかと心配される。中心部に人を集めた方がいいと思われる。 中心部の居住者が増えることが活性化につながると考えているが、コンパクトシティの考え方はないか。	それぞれの地域で暮らし続けるためにあじさい型のまちづくりを進めています。 高齢者は中心部へ移住する方も増えてきています。中心部での利便性を高める事も必要と思われませんが、まずは、公共交通手段であるバス路線の経路を見直し、乗換を便利にする取り組みがなされました。	黒沢尻東 飯豊
52	人口減少と国際化の推進について、率先して海外からの移民を受け入れてはどうか。	移民受け入れについては国全体として話題となっており、法整備等の状況や国の動向を注視していきます。	立花



④ その他

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
53	市の総合計画は順調に進んでいるのか。中期財政見通しでは依然厳しいように思われるがどうか。	総合計画は見直しも加えながら進めている状況です。財政については、基金を崩さなければ予算を組めない状況ですが、何とか枯渇は免れる見込みとなっています。平成 24 年度に総合運動公園の起債返済が終了しており、平成 30 年度にはさくらホールの起債返済が終わるため、その頃から改善される見通しです。	黒沢尻東 稲瀬 相去
54	市では様々なビジョンを策定しているが、推進状況は精査されているのか。	ビジョン自体は、将来のあるべき姿を描いたものであり、その実現のためにそれぞれの基本計画や実施計画を立てて、実行しています。特に実施計画には数値目標や達成年度を明記しており、逐次進捗状況をチェックしています。	鬼柳
55	市の借金はいくらあるのか。返済額が 47 億円くらいあるようだが、そのうち利息はいくらなのか。利息は、公債費ではないのではないか。身の丈にあった行政をして欲しい。	今年度の一般会計の中で、市の借金は約 430 億円くらいです。昨年度の南部工業団地の売却収入を、前倒し償還に充て、実質公債費比率が大きくなるようになりました。利息分が別科目というのは一般企業の会計方式であり、自治体会計では元金・利息を含めて公債費となっています。	黒沢尻北
56	NPO 法人等に各種業務を委託しているが、全部丸投げしているように見える。職員が一緒になって取り組まなければ上手くいかないと思われる。 NPO 法人の実態と市からの助成はどうなっているのか。	基本的な方向性の策定や、その後報告や進捗状況のチェックなど、職員が関わっています。 市内には NPO 法人が 25 団体あり、その中で市や県からの委託事業で運営している団体もありますが、補助金は出ていません。	黒沢尻西 立花
57	口内で計画されているソーラー発電所の規模は江釣子より大きいのか。	市有地を民間に貸して事業が行われるものですが、江釣子のかむいソーラーよりも小規模と聞いています。	黒沢尻東
58	コンビニ収納の手数料はいくらか。割高にはならないのか。収納率を上げるための施策か。	コンビニでは 1 件の手数料が約 60 円、銀行では 1 件約 10 円のため、コンビニの方が手数料は高くなります。目的については、収納率アップよりも納税者の利便性向上のために実施されています。	飯豊 更木 江釣子
59	アジアマスターズ陸上競技大会の市の支出はどの程度か。	およそ 1,000 万円の支出が見込まれています。	二子
60	国立競技場の座席の運搬費用は。	6,500 個を譲り受け、運搬費は 500 万円ほどです。	二子

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
61	高校野球の大会が行えるように野球場を整備してほしい。	市全体のスポーツ施設をどのように整備するのかという中で検討していきます。	岩崎
62	多目的催事場が廃止されるとの話があるが、子どもたちの利用なども含めて利用実態を把握しているのか。	藤根地区にある多目的催事場の利用状況は報告されています。廃止との話は聞いていません。なお、多目的催事場は屋根の塗装が予定されています。	江釣子



(2) 教育民生常任委員会関係

① 子育て環境について

※産業建設常任委員会の所管事項も含まれています

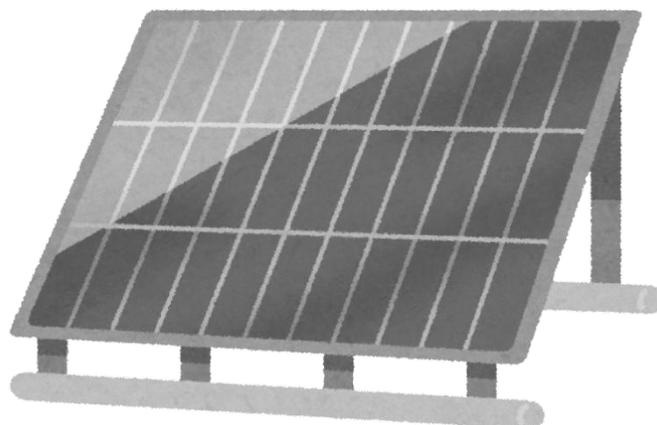
No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
63	若い夫婦が北上に住みたい、子育てしたいという施策はないのか。	平成 27 年度からの子ども子育て支援事業計画を現在策定中であり、議会でも注視しています。また、今年度は子育て世帯への支援として児童への医療費給付の対象が広がりました。その他にも少子化対策の 1 つとして、人口減少が著しい 7 地域を対象に定住化促進事業を行うこととなっています。	藤根
64	不安定な雇用では安心して結婚や子育てができない。また、ベビーシッター的な役割を NPO や、企業や行政で構築してはどうか。	雇用に関しては、市長を始め市幹部が企業訪問を毎年実施しており、プラス 1 運動として、正規職員をさらにプラスで 1 名雇用して欲しいという要望をしています。 ベビーシッターなどの制度作りは、民間力の活用が必要だと思われませんが、議会では今まで議論されてきませんでした。今後の研究対象としたいと思います。	黒沢尻北
65	小児科医が少なく、入院できるベッド数も限られている。	小児科医については市でも支援しています。ベッド数については、長期の入院になると病院が不利になるような保険制度となっており、制度見直しについても国で議論しているようです。介護と合わせて考えていく必要があると認識しています。	黒沢尻北
66	認定こども園の今後は？	子ども子育て支援事業計画策定の中で検討が進められています。今年度は双葉幼稚園が認定こども園化するにあたっての施設改修が行われています。	和賀
67	保育園等への入園について、抽選などできょうだいで別々の園に通うことになることで、その家族はより便利のいい地域へ引っ越してしまう。人口減少に歯止めをかける解決策としても同じ施設にきょうだいがそろって入園できるようなシステムにしてもらいたい。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【子育て支援課】 抽選の際には配慮しているところです。ただし、定員や他の方の希望状況などで、どうしても希望通りにならない場合もありますのでご了承ください。	岩崎

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
68	3歳未満の保育所入所待機児童が多い。高齢者の介護も同様であるが、対策を急いでもらいたい。	ファミリーサポートセンターがあり、会員登録して、子どもを預ける・預かるという制度もあるので、活用していただきたいと思います。子ども子育て支援事業計画策定の中でも、検討されると思います。高齢者の待機者については、施設の拡充が望まれますが、新しく計画された施設が資金面から計画中止となった例もあり、対応が困難になってきています。なお、市としては介護予防策に力を注いでいます。	黒沢尻北
69	横川目保育園へ入るところの案内看板の改修ができていない。交通事故も起きているので、早急に対応願いたい。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【道路環境課】 現地確認の上、標識は修繕済みです。	和賀
70	小学校の学区を自由化してはどうか。人口の少ない地区の小学校でも特色のある学校づくりをすれば、他の地区から子どもたちが入学してくれるのではないか。	都会では、自由化しているところもあるようですが、地域の子ども会が成り立たないなどの弊害もあり、地域づくりの面では疑問もあります。以前に、市P連が市に要望したこともあったようですが、その際には学区を超えた学校に通う理由として、「学年の途中で通学区域外に転居したが、在籍している学校に引き続き通学させたいとき」などの6種類あり、当面はその範囲内で対応したいとの考えだったようです。	更木
71	通学路の整備について、側溝へのフタの設置など少しずつ前に進めてほしいが、どのように実施される予定か。	整備する内容によって何カ所実施できるかわ変わってきますが、各学校からは90カ所以上の要望があり、優先度を考慮しながら実施されます。	和賀



② かむいソーラー（北上第1・第2ソーラー発電所）について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
72	メガソーラーに関係する事業の概要を教えてください。また、メガソーラーで得られた収益はどのように活用されるのか。	新庁舎建設予定地につくられた大規模太陽光発電所は、今年度から稼働しており、売電収入は年間で8,200万円ほどを見込んでいます。この収入は交流センターへの電気自動車の配置などスマートコミュニティ導入促進事業に充てられます。	鬼柳 黒沢尻西
73	メガソーラーは20年間の事業とのことだが、今後のメンテナンス費用によっては赤字とならないのか。また、自然災害などで太陽光パネルに被害があった場合の対応はどうなっているのか。	メンテナンスの費用や、20年経過後の施設の撤去費用まで含めてもプラスの収支となる見通しとなっています。また、損害保険に加入しており、災害などで被害があった場合は保険で対応することになります。	鬼柳
74	かむいソーラーのパネルが国産メーカーでない理由は。	事業者を公募した際に、最低限の年間発電量は実施要領で決められていましたが、特にメーカーの指定はされていませんでした。国産メーカーではなくても、想定している発電量が確保できる見通しで事業が進められています。	黒沢尻東



③ ゴミ処理について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
75	清掃事業所は今後どのようになるのか。	現在建設中の岩手中部広域クリーンセンターが稼働した後は、可燃ごみの焼却は新しい焼却施設に移ることとなりますが、不燃ごみの処理等で有効に活用されていくこととなります。	鬼柳
76	ゴミ処理施設について、盛岡はゴミ処理の費用が安い。温泉施設も利用者は多く、余熱利用の複合施設をつくったらどうか。	担当の一部事務組合に確認した結果、下記の回答が得られました。 【岩手中部広域行政組合】 現在新しいゴミ処理施設を建設中ですが、その建設にあたり国から補助を受ける要件として、余熱はすべて発電に充てることとなっています。そのため、プールや温泉等の余熱を利用した施設は建設することができません。なお、地元住民に対してもその旨は説明し、了解を得ております。	黒沢尻東
77	ゴミ袋の手数料はどのように使われているのか、具体的な金額などを市の広報などでも知らせて欲しい。	ゴミ袋や処理費用を特別会計化して見えるようにしようという話も過去にはありました。大まかな収支としては、手数料収入は約2億円で、ごみ収集費は約7億円です。市のホームページや広報紙に掲載し、周知するよう要望します。なお、ゴミ袋の製造会社は、今年度に見直しし、プロポーザル方式の入札（複数の業者に企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定するもの）で新たな業者が決定しました。	黒沢尻北



④ その他

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
78	看護師の労働環境が過酷で、妊婦であっても無理をして勤務し流産したという事例もある。過重労働への配慮はないのか。	6月定例会の際に、看護師の労働組合から同様の請願が出され、看護など医療現場の現状について説明をいただきました。その結果、議会としても労働環境改善が必要と判断し、国に対して夜勤のシフト等の改善や大幅な看護師等の増員を求める意見書を提出したところです。	黒沢尻北
79	国保税の未納により保険証を持っていない人が亡くなることがあった。こういう人を生み出さないようにしてほしい。	支払いが困難な場合には、分割して納めてもらうなどの相談に担当の職員が応じているので、未納のまま放置するのではなく、市に相談していただきたいと思います。また、そういったことの周知を徹底したいと考えています。	藤根
80	アジアマスターズ陸上競技大会のような国際大会の際には、子どもたちが英語に触れて活躍できるような場面を作ってほしい。	大会の案内係等を子どもたちが行うよう決定したとのことです。	立花
81	飯豊中学校に野球のナイター設備を設置してほしい。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【スポーツ推進課】 他の学校施設やスポーツ施設の整備状況等のバランスを取りながら対応を判断していきます。	飯豊
82	放射線量は測定しているのか？	定期的に測定し、市広報紙やホームページで公開しています。また給食用の食材も検査しています。	和賀
83	高齢者が増加しており、集える場所が欲しい。高齢者同士が元気に交流すれば、医療費なども抑制できるのではないのか。	各地区ごとにふれあいデイサービスが実施されており、市でも、介護予防に効果的であると考えています。各地区の実施回数は、月1回～2回程度ですので、常に集える場所とまではない現状です。	黒沢尻北

(3) 産業建設常任委員会関係

① 農業について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
84	押し付けられる農業ではなく、地域で考えられる生産体制になっていくことが良いと思う。農業に対する市の見方は。	北上市は地産地消にも力を入れており、学校給食でも地元産品の活用を図っています。農地集約など、地域で考えるべき課題は多いと思いますが、農業が市の基幹産業であるという意識は議会でも認識しています。市では農業ビジョンを策定し、農家所得向上を目指しています。	江釣子
85	農業では採算がとれず、新たな産業がないので、口内から人が出ていく。なかなかいい案が出てこないが、魅力ある産業をつくりたい。	継続した取り組みが必要と考えておりますので、北上市産業ビジョンを策定し、農業の6次産業化支援等を行っていきます。	口内
86	農業ビジョンでは、園芸作物を取り入れた複合経営で所得向上を目指す計画だが、そのためには栽培技術マニュアルなど具体的に提示してほしい。	御要望として承ります。農業者の所得向上は、農業における様々な課題を解決する上で重要な点であると捉えていますので、対策を講じていかなければならないと考えております。	鬼柳
87	農業の担い手対策を検討する時期です。担い手が高齢となってきているが、その子どもは担い手になっていない現状です。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【農業振興課】 市内13地域で作成している地域農業マスタープランに沿って事業を展開し、担い手育成を進めていきます。	二子
88	農業の6次産業化を更木では先行して取り組んでいるが、収入を上げるのは難しいと感じている。	更木の取り組みは他の地域にも生かせるモデルケースだと思われまますので、是非継続していただきたいと考えます。現在当市では、地域・産業連携復興支援員を雇用しており、事業者と協議し、経営改善に努めていきたいと考えております。	更木
89	6次産業化補助金が50万円とあるが、産業化するには少ないではないか。	これまで3件の補助事例があり、真空パックの機械購入や商品開発に充てられています。国や県補助もあり、市の補助は導入部分と捉えていただきたいと思ひます。	稲瀬

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
90	<p>地産地消は良いが、農家にレタスを作らせて、市が流通まで世話しているという話を聞いたが、どうなのか。</p>	<p>セブンイレブン向けの仙台の弁当工場からの依頼で、市が地元農家を紹介したようです。紹介された農家では、仲間を募って、共同でレタスを出荷していると聞いています。市は、企業と農家の需要と供給の紹介を行っただけで、流通段階にまで関わっている訳ではありません。他企業からも地元産野菜の斡旋の依頼が来ているようですが、出荷時期と量の安定供給体制の確立が難しく、実現していないとのことです。</p>	江釣子
91	<p>農産物の鳥獣被害対策について、最近はハクビシンが見られる。しっかり対応願う。</p>	<p>当市では、鳥獣被害特措法に基づき鳥獣被害防止施策を総合的かつ効果的に実施するため、平成 25 年に「北上市鳥獣被害防止計画」を策定しています。</p> <p>農作物被害をもたらす野生鳥獣の生息状況や被害発生情報を周知し、被害防止に努める他、被害農家らとともに鳥獣追払いや捕獲（ハクビシン）等の被害防止対策を実施することです</p>	稲瀬



② 商業・観光について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
92	<p>諏訪町アーケードは補助金を使って解体したとの事だが、どのような内容だったのか。</p>	<p>諏訪町商店街振興組合が、国及び市の補助金を活用して解体しました。国の補助金は、約1億円。残りの組合負担分の内、9割の約9,500万円を市が補助金として支出。差額を諏訪町商店街振興組合が負担したものです。</p> <p>市は、アーケード内の道路が市道であり、老朽化により落下物が発生するなど危険な状態であることから、市民の安全・安心を確保するため補助したものです。</p>	江釣子
93	<p>諏訪町のアーケードがなくなり、歩道も整備されていい通りになった。今後、月1回程度は歩行者天国などしてはどうか。</p>	<p>諏訪町商店街振興組合では、昨年度ワークショップ等を開催し「心はずむ お宮通り 諏訪町」をコンセプトに事業を展開することとしており、独自に年数回歩行者天国にし、イベントを開催する意向です。今年は、7月に夏祭り、8月に芸能公演、9月に秋祭り、10月にカレーグランプリ、12月にイルミネーションイベントを開催予定であると聞いております。</p>	黒沢尻東
94	<p>夏油高原スキー場の経営がどうなっているのか聞きたい。</p>	<p>県内の小学生へ無料リフト券配布、19歳を限定にシーズン中リフト代無料等、県内外への積極的な営業で入場者数が増加したとのことです。また、ナイター営業期間の短縮等コストを削減することで、初年度は黒字となったと聞いております。</p> <p>今後は、グリーンシーズンの営業に力を入れ、持続可能な経営体制の構築が進められると思われれます。</p> <p>スキー場入込数については、下記のとおりであると担当課に確認しました。</p> <p>【商業観光課】</p> <p>平成25年シーズン：68,347人</p> <p>平成26年シーズン：74,846人</p>	江釣子

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
95	夏油高原スキー場は四季折々に行きたい場所になるように、例えば地元の人と花畑にするなどどうか。	新たな運営者である株式会社北日本リゾートにおいて、グリーンシーズンの活用について検討され、地域との連携も考えていると聞いています。 グリーンシーズン期間を7月26日(土)～10月26日(日)と設定し、営業内容はゴンドラ運行、温泉、パークゴルフ、食事、宿泊施設の営業とのことです。	黒沢尻東
96	展勝地さくらまつりでの渡し舟を無料化してはどうか。	民間で運営しているものですので、市が決定できるものではありませんが、観光資源の1つとしては検討すべきと思われます。	黒沢尻東
97	さくらまつりの際、滞在してもらう時間を長くするため、サトウハチロー記念館の裏に1,000人以上入れる大型テントを設置し、市内業者に委託して食事ができる場所を設けてはどうか。	さくらまつりや他のイベントの際に、より経済効果を高める手法については、議会でも調査研究していきたいと思っております。	立花
98	さくらまつりの駐車場協力金を徴収するアルバイトの服装が見苦しいので注意してほしい。	さくらまつりは、当市において重要な観光事業であり、県外から多くの方がいらっしゃいますので、観光客が気持ちよく滞在いただけるように働きかけをしていきたいと考えております。	飯豊
99	みちのく民俗村を教育から観光に移管すると聞いているが、どのように進めるのか。	9月に民俗村に関する条例を制定し、12月に指定管理者を募集、来年度から指定管理者が運営するスケジュールとなっています。	立花



③ その他

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
100	住宅が増加している地域があるが、道路のインフラ整備が非常に遅れている。平成 16 年から要望しているが手つかずで、道路幅の狭い砂利道となっている。	道路整備は地域計画の順位付けに関わる部分ですので、地域の中でも課題を共有していただければと思いますが、御要望として承ります。	鬼柳
101	和賀農村環境改善センターは屋根の傷みにより雨漏りしている。早急に修繕してもらいたい。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【農林企画課】 玄関ホール及び談話室の雨漏りについては、平成 26 年度中に修繕する計画です。大集会室及び展示室の雨漏りについては、大規模改修が必要であることから、工法を検討することとしています。	和賀
102	空き家や雑草が繁茂している空き地が散見される。空き家の対策を急いでもらいたいが、どのような取り組みがされているのか。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【都市計画課】 空き家等の実態調査を行っており、その結果をもとに対応策を検討することとなります。国の法制化の動きもあり、その内容を注視しながら、検討作業を進めてまいります。	黒沢尻西 二子 立花
103	除雪の時間や除雪後の道路のチェックは改善が必要ではないのか。	昨年度より、除雪車にGPSを取り付け、どの道路をいつ除雪したかが分かるようになっており、市のホームページでも確認できるようにしています。また、除雪基準や、除雪すべき道路を幹線道路、生活道路、歩道と3分類し、それぞれに基準を設けるなどの工夫もしています。ただ、請負業者が変わったり、同じ業者内でもオペレーターが変わったりすると除雪技術に差がでるなどの課題もあり、議会でも指摘しているところです。今後もオペレーター教育にも取り組むなど、除雪体制の改善には逐次取り組んでいくものと思われまます。	黒沢尻北
104	107 号の道路融雪施設がそのまま残されているが、現在は利用されておらず、車両通行時の騒音に近隣住民は迷惑している。関係機関には話をしているが、良い回答が得られず、市も一緒に当たってほしい。	市の所管ではありませんが、県への働きかけなど何らかの対応が考えられないか検討いたします。	和賀

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
105	道路に面した松くい虫の被害木は、電線に倒れて断線する可能性もあるが、対策はどうなっているのか。	松くい虫の北限が県北に移ったため、県の補助金が入らず、最低限の防除しかできなくなっています。危険箇所については、対応する必要がありますので随時市に連絡いただきたいと思います。	稲瀬
106	歩道の街路樹が大きくなってコンクリートがひび割れている箇所があるので、管理を徹底してもらいたい。	道路状況なども含めて、市でも見回りを実施していますが、全てをカバーしきれないのが実情であり、議会でも度々指摘してきました。昨年度途中から、市民自らが、道路の破損箇所などを携帯やスマートフォンで撮影してGPS位置情報とともに通報できる「道路情報収集システム」も稼働したので、是非活用していただきたいと思います。	江釣子
107	街路灯の整備について、必要のない場所もLED化したのではないか。地元で設置した街路灯のLED化は予算がないので、補助について検討をお願いしたい。	商店街が管理している街路灯のLED化については、商店街施設等改修補助金として対象経費の一部が補助されています。	和賀
108	未だに「市民会館」という表記が残っている道路標識がある。	担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。 【道路環境課】 現地確認の上、新標識を発注済みです。9月末までには工事終了する予定です。	黒沢尻北
109	和賀川流域の堤防などの善良維持管理を県に要望してほしい。	県と市との政策協議の際に、要望として話題にあげるよう働きかけていきます。	鬼柳
110	中小河川の氾濫が各地で起きており、水路台帳の整備が非常に大切と考えるので早急に取り組んでもらいたい。	市では、洪水ハザードマップの見直し作業を行っております。今回の洪水ハザードマップには、氾濫シミュレーションから想定した浸水区域だけではなく、平成19年9月に発生した洪水のデータも活用し、実際に起こった氾濫区域も盛り込んで作成されます。また、紙の地図上に浸水想定区域を表記した印刷物のハザードマップだけではなく、地図情報システム(GIS)を活用した、デジタルデータ形式も導入されます。平成26年9月に完成し、印刷物での全戸配布を行う見通しとなっています。	岩崎
111	二子町上岡島地区の排水路について、秋から春にかけて水が流れていないため環境が良くない。年間を通じて水が流れるようにできないものでしょうか。	御要望として承ります。年間を通じて水を流す他、環境改善のために良い方法がないか探る必要があると考えます。	二子

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
112	展勝地の公園計画はどうなっているのか。	<p>担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。</p> <p>【都市計画課】</p> <p>公園自体の整備については、平成33年の展勝地100周年を目指し、平成29年度までの整備を市が進めております。今年度以降の主な内容は、植栽、園路、休憩施設等の整備となります。</p> <p>また、公園に隣接して国が進めている輪中堤の整備については、入札不調等により、事業の進捗が遅れており、市では同整備の早期完了を国に強く要望しております。</p>	黒沢尻東
113	オフィスアルカディアは研究開発型の企業を誘致することになっていたが、北上市が受け継いだことで、縛りがなくなるのではないか。	<p>担当課に確認した結果、下記の回答が得られました。</p> <p>【企業立地課】</p> <p>オフィスアルカディア北上は、地域の特性や、準工業地域という計画用途を生かし、様々な企業が入居し、地域の雇用を増やしています。国の方針もあり、中小企業基盤整備機構から北上市が受け継ぎましたが、市では、これまでの方針に変わることなく、企業誘致を進め、地域発展に寄与していきたいと考えています。</p>	相去
114	アジアマスターズ陸上競技大会などの国際大会が開催されるが、宿泊施設などの国際化の対応が遅いのではないか。	<p>市としても重要課題と認識し、昨年度から国際化に向けた事業を推進しています。関係する団体と連携しながら、案内板やパンフレットの多言語化に取り組んでいます。</p>	岩崎

(4) 広聴広報特別委員会関係

① 市民と議会をつなぐ会について

No.	質問・意見・要望	回答・対応	会場
115	市民と議会をつなぐ会の全体の時間が短いのではないかと。 田植えの時期なので時期を変更すれば、もっと多くの市民が参加できるのではないかと。	御参加いただいた皆様からのアンケート結果などを参考に、より良い実施方法、開催時期について検討いたします。	黒沢尻東 黒沢尻北 藤根 岩崎
116	テーマを絞ったことで話を聞きやすかった。地域にも議員にも有意義なことと思うので、今後も企画してください。	意見交換のテーマ設定は今回が初めての試みでしたが、これまでの『市民と議会をつなぐ会』よりも深い意見交換ができたと感じています。今後もより良い実施方法について検討しながら、会を開催していきたいと思っております。	黒沢尻西 二子

市民と議会をつなぐ会に参加いただきました皆様、
またアンケートにご協力いただきました皆様、
誠にありがとうございました。